

一般質問

祝 優雄 議員

生活航路を託す 経営者としては……



質問 佐渡汽船は、赤泊航路の運休期間の延長を迫り、小木航路では、北陸新幹線開業と双胴船就航を自ら約束しながら億面もなくその提案を反故にした。両津航路では、突然、753便の削減を提示するなど、近年の佐渡汽船の経営姿勢には目に余るものがある。県と佐渡市は離島における生活航路の維持確保に責任を持つ立場から厳しく対処しなければならない。**市長** 佐渡汽船の対応については、佐渡汽船が発足した趣旨から、一会社としてはなく、島民と一体となった運営でなければならぬということ、指摘のとおり。

質問 赤泊航路の廃止をチラつかせ、運休期間の延長を認めさせようとしている。**交通政策課長** 赤泊の説明会の中で、廃止が前提のような説明があり、住民に不安を持たせるような説明は不適切だと考えている。**質問** 運休期間の延長で、820万円の経費削減と聞く。営業努力で収益を増やすことが説明にないがどう思

うか。**市長** 820万円は自助努力で確保するのは当然。**質問** 離島航路は道路という意識で取組んできた。本来であれば県が責任を持ち維持管理するのが当たり前かと思わないか。**市長** 全くそのとおりである。長岡市の森市長とも両泊航路は残すことで、致しており、その意向を踏まえ、県が責任を持つ佐渡汽船に当たってほしい。

質問 12月5日、両津でもダイヤの説明があったと聞く。資料に両津・新潟航路JF728便、CF25便を減らすことを市長は何時知ったか。**市長** 便数については、佐渡汽船からも説明はない。佐渡汽船については、11月21日、市議会、佐渡汽船との3者会議に幹部が来たが減便の説明はない。**質問** 佐渡市は佐渡汽船に

なめられている。何のための協議の場なのか。**市長** その問題である。**質問** 県も佐渡市も観光関連業者総てが佐渡に1人でも多くの客を呼び込もうと必死になっているときに要の交通手段を減らし利用者に不便を強いる。生活航路を託す経営者としては不適格だ。小木航路に対し債務負担行為を議決しているが、支払いが終わっているか。**市長** 現在交付決定はしていない。誠意をもった回答が無い場合はストップする。これは当然と思っている。

質問 佐渡市の温泉施設を維持する目的及び平成27年1月中旬にプロポーザル方式で公募する条件について問う。**市長** 市民のニーズやランニングコスト、地域バランスなどを考慮して温泉施設として継続することを前提として公募型プロポーザルを実施し、新たな事業者を求める。公募条件は、応募者の要件や用途制限期間を緩和し、事業主体が自分の力を発揮しやすい視点で検討をしている。

質問 公募しても希望者がなかった場合はどうするか。**市長** 何回公募しても希望者がいない場合、佐渡市は温泉を直接運営しないので解体するしかない。**質問** 事業者が運営は無理と判断した場合は、市に返

一般質問

大森 幸平 議員

健康福祉センター、市民の憩いの場として温泉施設を活用せよ



質問 佐渡市の温泉施設を維持する目的及び平成27年1月中旬にプロポーザル方式で公募する条件について問う。**市長** 市民のニーズやランニングコスト、地域バランスなどを考慮して温泉施設として継続することを前提として公募型プロポーザルを実施し、新たな事業者を求める。公募条件は、応募者の要件や用途制限期間を緩和し、事業主体が自分の力を発揮しやすい視点で検討をしている。

質問 公募しても希望者がなかった場合はどうするか。**市長** 何回公募しても希望者がいない場合、佐渡市は温泉を直接運営しないので解体するしかない。**質問** 事業者が運営は無理と判断した場合は、市に返

還できるのか。**行政改革課長** 返還特約を付ける。**質問** どんなに頑張っても温泉施設だけ赤字にすることは難しく、設置目的が違

う。**市長** 副市長は市民の健康を維持するため、福祉センター的な役割を果たすために佐渡市として利用者を増加する方策を考えていると答弁したが考え方は。

社会福祉課長 市民の温泉の利用を促進していくという観点から、子育て支援、高齢者等の健康増進、憩いの場、老人クラブとか子供会、その他の地域の団体等が利用しやすいような地域の絆づくりといった視点で温泉の利

用の促進を図っている。具体的な支援の内容は。

市長 具体的に、どこで何十円とか何百円とかということでは決まっていないので、申し上げられない。地域の温泉は地域の人が守らなければだめだ。地元が本来に必要であるならば、地元



畑野温泉松泉閣

一般質問

渡辺 慎一 議員

佐渡市のエネルギー戦略について



〔質問〕 佐渡における再生エネルギー、クリーンエネルギーの現状と可能性について問う。

市長 COI（センター・オブ・イノベーション）という10年後の佐渡が目指すべき姿の実現に向けた文部科学省事業の中でスマートエコアイランド研究拠点として佐渡がCOIトライアルとして2年間限定の採択を受けた。同時に10年間継続の申請も行っている。自然エネルギーは佐渡において太陽光、バイオマス、波力、風力、水力と多様であるが佐渡の実態に合わせてベストミックスでやっている。水素、地熱も注視している。

〔質問〕 佐渡におけるクリーンエネルギーの実績を問う。

環境対策課長 風力発電設備

1キロ1件。それ以外すべて太陽光発電設備の導入で平成25年度までに169件、発電能力で1244キロワットである。

〔質問〕 太陽光発電のための農地転用について問う。

農業委員会事務局長 2種、3種農地であれば永久転用で実際やっている。1種農地の場合は支柱を立て、その下で営農することが条件。これについては新潟市に1か所あるのみ。

〔質問〕 送電線の関係で買い取りできないとのニュースもあるが、佐渡の場合はどうか。

環境対策課長 全国的に電力会社が引き受け量の制限を打ち出してきているが、現在は従来通り認定を受けたものについては買い取りをするという。

〔質問〕 全国には設置者が、

太陽光パネル価格が安くなるのを待っているようであるが佐渡の場合はどうか。

環境対策課長 補助金交付で導入された施設については運転確認後に補助金を交付する。すべて運転している。

〔質問〕 家庭用燃料電池の普及と補助制度について問う。

環境対策課長 補助対象経費の3割、上限90万の予算措置をしている。普及はゼロである。



未来の車、水素自動車

一般質問

笠井 正信 議員

両津病院の耐震診断の結果が出たが今後の対応を問う



〔質問〕 現状の両津病院では入院されている方がいるため、建て替え工事ができないので移転を考えなくてはならない。危険を回避するため、合併特例債を充て移転を早急に考えるべきだ。

〔質問〕 現状の建物に対する工事は現実的ではなく、建物の耐用年数は、あと6年程度であり、津波浸水の危険性もある。移転すべきとの答申があり、地元の意見を尊重し考えたい。

市長 現状の建物に対する工事は現実的ではなく、建物の耐用年数は、あと6年程度であり、津波浸水の危険性もある。移転すべきとの答申があり、地元の意見を尊重し考えたい。

〔質問〕 市長が上げたチーム佐渡とは、何をやるチームなのか。

〔質問〕 佐渡観光衰退の要因を問う。今年度の観光の入りも伸びなかったが、施策の効果が思うようにならないか。

〔質問〕 里山再生事業の現状を問う。

市長 佐渡には立派な資力が残っており、体験滞在型のメニューを設定し、料理に特色を出すなど方向を変えていかないといけない。また、ジェットフォイル

〔質問〕 地域の活性化を問う。地域が崩壊・衰退していくのは、若い女性の都市

〔質問〕 現状の両津病院では入院されている方がいるため、建て替え工事ができないので移転を考えなくてはならない。危険を回避するため、合併特例債を充て移転を早急に考えるべきだ。

〔質問〕 市長が上げたチーム佐渡とは、何をやるチームなのか。

〔質問〕 佐渡観光衰退の要因を問う。今年度の観光の入りも伸びなかったが、施策の効果が思うようにならないか。

〔質問〕 里山再生事業の現状を問う。

への流出、自治体の出生率の低下による人口減少にある。行政は危機認識を持ち、政府が推進する地方創生を活かし佐渡市においても次世代エネルギーパークとして未来志向に取り組むことが国の施策にのり産業、生産、雇用の創出、教育の高揚、産業観光等の転換を考えないといけない。

市長 創生交付金、離島交付金を活用する事を総合政策監に指示している。



市立両津病院



一般質問

荒井 眞理 議員

市民に納得のいく説明を 粘り強く求める



〔質問〕 公立保育園の生活発表での男女別演目の現状は。

〔社会福祉課長〕 339演目中44演目である。

〔質問〕 それをゼロにする目標を掲げないか。

〔社会福祉課長〕 子どもたちの意思を尊重したい。

〔質問〕 保育指針には男女別保育をしないとあり、これを守っていただきたい。次に図書館の質問をする。学校司書は図書館司書の有資格者を採用してほしい。

〔学校教育課長〕 今回の法改正では求められていない。

〔質問〕 県内でも佐渡は児童の利用率が2番目に高いが、子どもコーナーは3か所のみ。子育て支援との連携は。

〔社会福祉課長〕 今後は地域子育て支援センターに図書館司書等に来てもらう予定。

〔質問〕 本を借りられる所に子どもの創作活動をする空間を作るべきだ。また攻めの図書館

活動としての研究は。

〔社会教育課長〕 県内3か所でビジネス支援をしている。

〔質問〕 佐渡は離島の中でも図書館費も正規職員も一番少ない。もつと増やすべき。次に佐渡観光情報発信戦略について。観光する当事者の視点に立ち、変えていくべき。どうなっているか。

〔観光振興課長〕 9月議会以降、専門的部分は関係課から写真を集めて載せている。

〔質問〕 担当課でも平根崎に肝心な波食甌穴（はしよくおうけつ）の写真を載せていない。まして委託団体には専門的なことは分からない。今後どうするか。観光振興課長 新年度の委託選定は十分に精査する。

〔質問〕 架空請求事件に繋がった昨年度の願地区小規模治山工事の見積書は。

〔農林水産課長〕 担当者も業者も保存していない。

〔質問〕 その業者は別に補助金受給していないか。

〔産業振興課長〕 2つ出した。民間感情として納得がいかない。真相究明を。

〔市長〕 これ以上の調査はできない。二度と起こさない方に力を注ぎたい。

〔質問〕 NPOに対する指導と監督について問う。問題の多いあるNPOは100万円の助成金を収支報告に記載していないが適正か。

〔地域振興課長〕 調査する。

〔質問〕 新年度の委託選定は十分に精査する。

〔質問〕 NPOに対する指導と監督について問う。問題の多いあるNPOは100万円の助成金を収支報告に記載していないが適正か。

〔地域振興課長〕 調査する。

〔質問〕 新年度の委託選定は十分に精査する。

〔質問〕 NPOに対する指導と監督について問う。問題の多いあるNPOは100万円の助成金を収支報告に記載していないが適正か。

〔地域振興課長〕 調査する。

〔地域振興課長〕 調査する。

自治体	児童書貸出	児童登録	児童書出
1 小千谷市	29.0	19.9	42.8
2 佐渡市	25.7	15.7	50.6
3 阿賀野市	25.5	11.0	45.1
4 魚沼市	25.5	18.5	43.7
5 胎内市	23.9	17.6	43.2
県内全体	9.5	10.0	31.6

2013年度の県内市町村の図書館利用のうち児童・児童書の比率(%) 上位順(5位まで抜粋)



一般質問

近藤 和義 議員

佐渡を世界遺産に



〔質問〕 新潟県と佐渡市は、平成29年の佐渡金銀山世界遺産登録を目指している。

この実現は、佐渡の振興と活性化はもとより、佐渡市民の大きな誇りとなるものであり、島の将来を担う子どもたちのためにも佐渡を是が非でも、日本の宝、世界の宝にしなければならぬ。

今後の3年間は正に勝負の時期であり、今後も佐渡市世界遺産登録推進議員連盟会長として登録への世論の喚起と結果に全力を傾注する所存である。金銀山の進捗状況を問う。

〔市長〕 現在、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議加入団体は、1000団体を超えており、登録に向けて多様な事業を実施している。また、構成資産の文化財指定と保護には継続的に取り組んでおり、本年度末に国へ提出する推薦書の準備を進めている。

〔市長〕 現在、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議加入団体は、1000団体を超えており、登録に向けて多様な事業を実施している。また、構成資産の文化財指定と保護には継続的に取り組んでおり、本年度末に国へ提出する推薦書の準備を進めている。

〔市長〕 現在、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議加入団体は、1000団体を超えており、登録に向けて多様な事業を実施している。また、構成資産の文化財指定と保護には継続的に取り組んでおり、本年度末に国へ提出する推薦書の準備を進めている。

〔市長〕 現在、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議加入団体は、1000団体を超えており、登録に向けて多様な事業を実施している。また、構成資産の文化財指定と保護には継続的に取り組んでおり、本年度末に国へ提出する推薦書の準備を進めている。



金の道ウォーク H26.10月4日



下村文部科学大臣に世界遺産推薦要望書提出
文部科学大臣室 H26.11.13

委員会審査経過

12月定例会における、各常任委員会の主な審査経過を報告します。

総務文教常任委員会

当委員会に付託された案件の内、2件が否決となり、残りの案件は原案どおり可決しました。

佐渡市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

本件については、佐渡市の課の統合や廃止等の改正をするものですが、執行部からの説明に対し、多くの委員からは改正案に対し、行政改革課や交通政策課は残すべき、全体を統轄する企画課を作るべき、また、部制に戻し管理体制を強化すべき等の意見が出され、審査の結果、賛成少数で否決となり、本会議最終日に議案の撤回が執行部から出され、議会は同意をしました。

公の施設に係る指定管理者の指定について(羽茂B&G海洋センター、羽茂ゲートボール場、小木B&G海洋センター)

本件については、3年間の指定管理における提案額が6800万円であり、直営と比較して20万円しか差がない。委員からは直営でも良いのではないかと。また、B&Gの現状をもっと把握してからでなければ指定管理に出すべきではない等の意見が出され、審査の結果、賛成少数で否決となりました。

市民厚生常任委員会

公の施設に係る指定管理者の指定について(真野第2保育園、西三川デイサービスセンター)

指定管理者の指定については、「社会福祉法人佐渡ふれあい福祉会」に平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間で、指定管理料は1億620万

円を予定していると説明がありました。

各特別会計の補正予算について

補正予算については、平成26年度の

(1)後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)では72万円の補正。

(2)歌代の里特別会計補正予算(第2号)では406万円の補正。

(3)すこやか両津特別会計補正予算(第2号)では618万5000円の補正。

(4)国民健康保険特別会計補正予算(第3号)では37万6000円の補正。

(5)後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)では24万3000円の補正。

(6)介護保険特別会計補正予算(第3号)では67万8000円の補正。

(7)歌代の里特別会計補正予算(第3号)では262万2000円の補正。

(8)すこやか両津特別会計補正予算(第3号)では276万7000円の補正。

(9)病院事業会計補正予算(第2

号)では収益的支出に1210万8000円の補正であります。

番号(1)から(4)までは通常の補正予算です。番号(5)から(9)までは人事院の給与改定勧告による補正予算です。

なお、(3)のすこやか両津の補正予算案には「負担軽減のため、後発医薬品の使用を検討されたい。」と意見を付けました。

産業建設常任委員会

公の施設に係る指定管理者の指定について(ドンデン山荘・交流センター白雲台)

執行部の概要説明に対し、委員からは両施設に対して審査項目中のコスト評価が高い理由について質問がありました。

執行部から採点方法の説明がありました。委員からは、採点方法を見直すべきとの発言が



ドンデン山頂から両津湾を望む

ありました。

委員会として、指定管理者を選定する際の審査における配点について、コストの評価に偏重し適正な評価がなされていると、言い難い。民間事業者等があるノウハウを活用することで住民サービスを向上させるという指定管理者制度の趣旨に立ち返り、より適正な評価を行うため配点の見直しを検討されたいことと意見を付けました。